

# 報恩寺だより

平成13年4月17日  
綾瀬市寺尾南 2-10-1  
おたすけ観音 報恩寺  
電話 0467-78-7160  
FAX0467-79-1567

## 大般若祈祷会勤修について

5月17日は、おたすけ観音の縁日です。皆様の家内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈り、大般若祈祷会を次により行いますので、お誘い合わせのうえ御参詣くださるよう、ご案内申し上げます。

### 記

期日 5月17日(木)  
日程 午後1時 御詠歌  
午後2時 大般若祈祷会  
午後3時 小斎

祈祷料(2000円)は当日御志納お願い致します。

## 特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

奥津政信 様	早川 正 様	奥津 香 様	齋藤三津夫 様	橘川 秀 様
戸井田國輝 様	蛭子幸三郎 様	橘川照夫 様	橘川泰一 様	橘川到夫 様
早川ヒデ子 様	森町巖夫 様	山口光雄 様	早川勝利 様	金子久雄 様
山口義雄 様	武藤十郎 様	早川 寛 様		

## 西国三十三観音霊場

前回の報恩寺だよりでは、秩父三十四ヶ所観音霊場お参りの旅を報告いたしましたが、今回は西国三十三観音霊場のお参りをご報告いたします。西国三十三観音霊場は関西一円と範囲も広く、お参りに時間もかかるので3回に分けて行くことにいたしました。その内(第一回)平成12年10月25日~28日、(第二回)平成13年3月25日~27日、第一番から第二十七番まで番外三ヶ寺を含め三十ヶ寺をお参りしてまいりました。

第1回目 平成12年10月25日は朝早く、報恩寺からバスに乗り、羽田から南紀白浜まで飛行機

で、そして、本州最南端の、潮の岬で昼食をとり、神秘的な姿の「那智の滝」を見学し第一番の那智山青岸渡寺をお参りするまでに観光気分を満喫しながらの道のりでしたが昔はこの道程を歩いてお参りしていたかと思うと、それだけで大変な修行であったに違いないと、バスの窓から熊野灘を眺めながら考えていました。バスがお寺の駐車場に到着すると、少し雨が降っていましたがガイドブックの中にも



那智山は雨が多いのだと雨模様の情緒のある写真が記載されており、それとそっくりな風景を見ると、「これもきっと観音さまのお導きに違いない。ありがたい、すばらしいことだ。」などと勝手に感激していましたが、駐車場からでも本堂までは450段の石段を登りますが、参道が厳しいのは多分第一番だけだけだろう、「ほんの少し昔ながらのお参りが体験できる」と喜んでおりましたが、ほとんどの札所が山の上であり、長い石段を登ったり、険しい山道を行ったり

と、お参りの道はほとんどが山、坂道でした。3泊4日、2泊3日の日程で15・6ヶ寺を廻るということは、考えていたほど楽なものではありませんでした。特に東武トラベルの添乗員の梅本さん、前田さんには大変お世話になりました。私達が巡礼をしている間に御朱印帳、掛け軸、おいずるを持って急な石段を駆け上がり、納経所へ御朱印を授かりにと汗だくになって働いているのを見ると、巡礼の旅で一番尊いのは旅行会社の添乗員なのではないかと思えます。

お観音さまを拝むために、添乗員さんの導きに従い、バスの運転手さん、バスガイドさん、に手伝って頂き、地元の皆様にお接待を頂き、険しい道程を乗り越えて本堂（お観音様）の前で般若心経を唱え、御詠歌を唱え終わると、すがすがしい気持ち、観音霊場巡拝ならでわの達成感があります。ささいなことでも、お観音さまのご加護があるからだと感じたくなってしまう、例えば、予定が遅れていて帰りの飛行機の時間ぎりぎりだったので、前の団体より先にお参りできてありがたいとか、天気が晴れてよかったとか、雨が降って風情があるとか、雨で濡れた石段を合羽のボタンをしながら降り階段を踏み外し、しりもちをついたがスリキズですんだとか、とにかく無事に観音様のおかげ皆様のおかげでここまでお参りをすることが出来ました。満願まであと六ヶ寺ですが報恩寺壇信徒皆様の健康とご繁栄を御祈願しつつお参りしていきたいとおもいます。



石山寺 多宝塔にて このお寺で紫式部が源氏物語を執筆したといわれている。